



こもれび新聞

2024年
3月号

連絡先：〒197-0825 東京都あきる野市雨間385-2 電話 042-550-3030 FAX 042-558-0756
発行者：社会福祉法人さくらぎ会・特別養護老人ホーム こもれびの郷・広報委員 <http://www.komorebinosato.or.jp>



来年度も「人に優しく」

令和6年度は、「2025年問題」の前年度であり、団塊の世代全員の75歳以上を迎え、少子高齢化が進む中、労働力人口が減少する中で、介護の現場に、今まで以上の人材不足の波が押し寄せてきております。

多様な人材採用や多様な雇用形態の導入が必要となってきたこと、外国人や労働意欲の高い高齢者の採用の所定労働時間を短くした「短時間正社員制度」の導入など、職場環境や社内制度の整備が待ったなしの状態となっております。

国は、第9期介護保険事業計画で、介護報酬をプラス改定としました。が、物価の高騰もあり、事業の取り巻く環境は依然厳しい状態が続いております。

こもれびの郷では、働きやすい職場環境の実現に向け、介護職員の業務負担軽減の為に、介護ロボットやICTの導入などの環境整備、職場環境の改善を行ってまいります。また、資格取得に関する研修や他法人間の職場体験研修などを通して、職員との育成・スキルアップを目指してまいります。

そして、利用者様が楽しく、安全に心地よい環境で過ごされますよう努めてまいります。

来年度事業計画策定

施設長 藤田 和弘

留学生さんとの協働

令和4年度から、外国人留学生さんをお迎えし一緒に働いています。言葉の壁を感じることはありません。しかしながら、国民性と言えるのかもしれません。が、とても明るい方が多くコミュニケーションは思った以上にとることが出来ています。

現状の問題点としては「外国人だから」というよりは、「社会人としての働いたことがない」という日本人にも共通する経験の問題であることが多いと感じています。こうしたことから、専任のコーディネーターを配置し、日本人職員との協働の深化を目指してまいりました。

令和6年度はこの取り組みも3年目を迎えることから、僅かですが、また一歩先に進むことを考えています。今度お任せしていただけた部分の業務を新たに担当していただくということがあります。

そこで問題になるのは、やはり「記録」の部分だと職員間で話しています。介護のお仕事は、実際に手を動かす部分と同じくらい記録と考察が重視されます。今までのデータから読み取り予測することもありますが、24時間の利用者様の生活を一人の人間がカバーすることは不可能です。ので、情報の伝達、客観的な事実の申し送りが必要不可欠なのです。その為の記録、そして申し送りなのです。

この部分はやはりまだ時間がかかるかと考えています。今後の介護の現場は、そうした部分は日本人が主に担当し、現場のマネジメントを行うこととなるでしょう。外国人の方にはその時間を産み出すために現場を守っていただく必要があります。

外国人の方の立場から見れば、いきなりすべてを任せられるよりも、まずは日本の高齢者とのコミュニケーションを学び、そして次に日本語の記録やそれを活かすという時間的余裕を与えられたいという考えです。



お馴染みの鬼たちが現れました

季節行事二月

こもれびの郷では、毎月利用者の皆様に季節を感じていただける様な行事を企画しております。

先月の二月は節分行事として豆まきをおこないました。鬼に扮装したワーカーが各階をまわり、利用者の方々に楽しんでいただけたという趣向でお楽しみいただきました。

本格的な衣装を用意して臨んだので、利用者の皆様がびっくりしたり喜んでいただいている様子が見られました。く伝わってまいります。

調理室より

管理栄養士 荒井 みさき

2月は東京でも数センチ積もる雪が降り真冬のような寒さの日と、日中20℃近くまで上がる春のような日と、気温差が非常に大きい月だったように感じます。梅や早咲きの桜の開花が始まり、少しずつ春の訪れを感じる陽気となってきましたが、まだまだ寒い日が続いていますので、体調管理には十分に気を付けていきたいところです。

2月3日の節分では昼食に枝豆ご飯、午後のおやつにはポロポロをお出ししました。ポロポロは利用者様にとって馴染みのある味だったようで、懐かしさに浸って頂きながら鬼に扮した職員に向けて豆まきのイベントを楽しまれました。

また、23日の天皇誕生日にも行事食の一例としてちらし寿司をお出ししました。今回は2月に誕生日を迎えられた利用者様からのリクエストに基づき献立を立てました。デザートには苺を献立し、季節感も味わっていただけただけではないかと思っております。

毎月、その月に誕生日を迎えられる利用者様からリクエストを頂き献立に組み込んでいきます。ちらし寿司やいなり寿司、焼きそばが人気となつております。今後も食事の楽しみの一つとして、リクエストメニューの提供を継続していければと思います。



天皇誕生日の献立
ちらし寿司、鶏しんじょうの煮物、苺

令和6年度 正職員・パート職員募集のお知らせ

職員を採用しております。出勤日数、資格、経験などで時給・給与査定上積みいたします。日数によって各種保険・年金・退職金あり。新卒以外にも、子育て中の主婦の方、転職の方々も活躍されております。お問合せ先：電話 042-550-3030 / メール info@komorebinosato.or.jp 担当 宮林



ポーズをとってくださいました

お誕生日おめでとう ございます

こもれびの郷では、利用者の皆様のお誕生日の月にその方に合わせたお祝い、パーティー企画を行っております。

趣旨としては、こもれびの郷をご利用いただいている大切なお客様でもある皆様に、年に一回日頃の感謝を込めてお祝いをさせていただくというものです。企画は利用者様のお部屋の担当をさせていただいている職員が行い、「どの様な形で行えば喜んでいただけるか。」を考えて事を運んでおります。



キラリとお祝い



熱心にとりくまれる

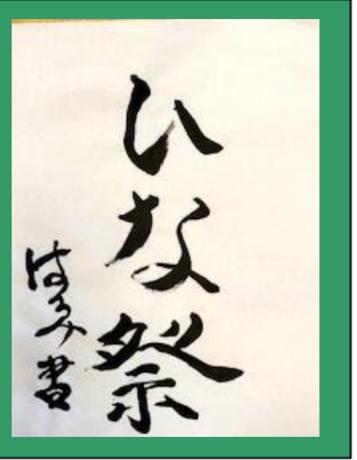
クラブ活動報告 書道クラブ

2月28日水曜日。書道クラブを各階の談話室にて行いました。(コロナ対策として、小集団で複数回行いました。)スタッフは職員2名です。墨汁、筆、半紙、毛氈などを用意します。

お手本は書道師範の紫順先生で、普段は1階の事務所で総務を担当しているこもれびの郷の職員さんです。開園以来休むことなくずっと担当していただいております。準備も丁寧でぬかりなく、その月にあった言葉を選び、前もってお手本を自ら書いてくれているので、利用者さんにとっても好評です。

こもれびの郷の利用者さまは、当然ながらパソコンもワープロもない時代、つまり文字を自分で書くしかない時代に生まれました。親しんでいらした方が多く、毎年多くの人が参加されます。

文字は書く機会の少ない私たちは、利用者さまが楽しそうに書写に勤んでおられる風景はとても新鮮です。



書道クラブ作品



手芸クラブの風景

今月の芸術家



青々と茂る葉

からり施設散歩の旅 「こもれび農園」

こもれびの郷の前庭には「こもれび農園」があります。季節の野菜を植え、利用者の皆様に鑑賞していただいております。

いまは大根がすくすくと育っており、近いうちに収穫を行い、話題のぼる予定です。

ボランティアア通信

活動見合わせ 期間延長のお知らせ

新型コロナウイルス流行がまだ終息しておりません。利用者様の安全を守る為にも引き続き活動休止期間を延長させていただきます。

再開時期は未定ですが、決まり次第この「こもれび新聞」でお知らせしたいと考えております。何卒ご理解の程お願い申し上げます。

俳句川柳クラブ 傑作選

- 校門の 高きポプラや 卒業す(渡邊吉氏)
- 寒い朝 降りしきる雪 銀世界(庄司氏)
- 春の花 雪に隠れて 春を待つ(清水氏)
- 冬の朝 トミさん囲んで 塗り絵する(石川氏)
- 古池に 金魚泳いで カワイイな(三井氏)
- 冬になる 雪が降りつつ 綺麗だな(白石氏)
- 冬の午後 餃子まみれの 幼き日(松田氏)
- 寒い冬 手作り毛皮と アルコール(加賀谷氏)

<3月の行事>

- 1 金 理容の日
- 2 土 療法士指導
- 3 日 ひなまつり
- 4 月 俳句川柳クラブ、カメラ工事
- 5 火
- 6 水 職員健康診断
- 7 木 アロマクラブ
- 8 金 理容の日
- 9 土 療法士指導
- 10 日
- 11 月 華道クラブ
- 12 火
- 13 水 防災訓練
- 14 木

※ 感染症予防の為、当面の間ホーム喫茶及び外部ボランティアさんの参加をお休みいたします。

- 15 金 理容の日
- 16 土 療法士指導
- 17 日
- 18 月
- 19 火
- 20 水 出張喫茶「青蛾珈房」、菓子配達
- 21 木
- 22 金 訪問美容
- 23 土 療法士指導
- 24 日
- 25 月
- 26 火 茶道クラブ
- 27 水 書道クラブ
- 28 木 音楽クラブ

- 29 金 利用者懇談会
- 30 土 療法士指導
- 31 日

<4月の行事> ※変更の可能性あります

- 1 月 クラブ活動
- 2 火
- 3 水 防災訓練
- 4 木 クラブ活動
- 5 金 理容
- 6 土 療法士指導
- 7 日
- 8 月 クラブ活動
- 9 火
- 10 水

